

学級活動 学習指導案

学習を通して培う国際理解の力

- ② 人権意識の涵養
- ④ 他国異文化の理解
- ⑤ コミュニケーション能力、交流意識、態度

学校名 釧路市立景雲中学校

生徒 第2学年4組 男子 18名 女子 16名

授業者 教諭 福田 貴志

1. 題材名

学級活動「学校で学ぶ目的」

2. 単元目標

学級活動(3) 学業生活の充実 将来の生き方と進路の適切な選択に関すること

- ・他国・異文化の子供たちに関心を持つ。
- ・他国・異文化の子供たちの「学校で学ぶ目的」についてその国の子供の立場にたって考える。
- ・クラスの他の生徒との意見交流をとおして、「学校で学ぶ目的」を深く見つめなおし、学校生活を充実させる。

3. 単元について

(1) 生徒の実態

クラスのほとんどの生徒の「学校で学ぶ目的」は、「高校受験に合格すること」である。しかし、その目的意識は脆弱で、学習への取り組み姿勢はそれほど真剣とはいえない。普段の家庭学習時間は少なく、授業態度も「受身」であり、自らの力で進路を切り拓いていこうという意識に欠ける。

新聞、ニュースなどの国際的な話題に対して自ら積極的に知ろうとする生徒は少ない。しかし、教師側からの海外の話題に興味深く耳を傾ける生徒は多い。クラス全体の傾向として、自分の意見を考えること、少人数のグループや全体で、意見を交流するコミュニケーションを苦手とする生徒が多い。

(2) 教材としての価値（視点1に関して）

釧路市出身のフォトジャーナリストの長倉洋海氏が、今年「アフガニスタン山の学校支援の会」を発足させた。きっかけは、長倉氏が以前訪れたことのあるポーランドという小さな山村の学校を再訪したことにある。子供たちは窓ガラスも扉もない教室で、地面に座ったり石に腰掛けたりしながらも真剣に学んでおり、教師の給料の未払いによる教師の授業ボイコットのおそれ、兄弟3人に教科書が一冊、ノートや鉛筆すら不足しているという厳しい現実があった。そこで長倉氏は「なんとかこの村の子供たちを助けたい。」と願い、この会を発足させることとなった。

この教材では、長倉氏の写真、雑誌、新聞記事、VTRを通して、他国・異文化で生きる子供たちの現実を、興味を持たせながら理解させる。そして、それらの子供たちの立場にたって「学校で学ぶ目的」について考えたり、クラスの他の生徒と意見交流していく活動を通して、生徒自らの「学校で学ぶ目的」について深くみつめなおさせることがねらいである。

(3) 指導にあたって(視点2に関して)

各自の「学校で学ぶ目的」をより明確に他の生徒に表現しやすくするために、「ランキング」の活動を取り入れた。ランキングとは、あるテーマに基づいて、10個前後の「権利、課題、具体的品物」をカードや一覧表のワークシートに記入し、学習者が、自分にとっての重要性・必要性に従い、順位付けする活動である。その上で各自が理由を整理するとともに、その結果について、学習者相互が意見交換討議を行い、他者の考えを理解するとともに、多様な見方があることを理解することになる。集団の合意形成を図るためのスキルとノウハウを培うトレーニングとなる。

全体で発言、意見交流などのコミュニケーションを苦手としている生徒が多いので、それらの生徒が気軽に意見をいえる雰囲気作りを心がけ、一人一人やグループに積極的な声かけに配慮したい。

アフガニスタンの子供たちの姿をとおして、学校で学ぶことの幸せに気づかせ、両親や教師のいわれるがままではなく、生徒自身が「心の内なる声」に耳を傾けながら、自らの「学校で学ぶ目的」をみつめなして、学校生活の一層の充実につながるような活動にしたい。

4. 指導計画 (3時間扱い)

時数	学習内容	評価規準	他の領域との関連
1	・自分が「学校で学ぶ目的」のランキングをつくる。 ・ランキングの結果をもとに各自の意見を発表する。	*自らの「学校で学ぶ目的」について考える。	・道徳 1 主として自分自身に関すること (5) 自己をみつめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。
2	・アフガニスタン全般について ・アフガニスタンの子供の現状について ・アフガニスタンの山の学校について	*アフガニスタンの全般、子供の現状、山の学校について理解する。	2 主として他の人との関わりに関すること (5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して謙虚に学ぶ広い心をもつ。
3 本時	・アフガニスタンの子供たちの「学校で学ぶ目的」のランキングをする。 ・各自のランキングの結果について小グループにわかれて話し合い、グループとしてのランキングを決定する ・各グループのランキングと比較して、共通点、相違点について話し合う。 ・山の学校設立の発起人の長倉洋海さんの意見を聞いてみよう。(読んでみよう。)	*アフガニスタンの子供の立場になって「学校で学ぶ目的」を考える。 *ランキングの結果をもとにグループ、全体での話し合いができる。 *自らの学校で学ぶ目的をみつめなおす	・社会 地理的分野 世界の国を調べよう

5. 本 時 案

(1) 本時の目標

- ・アフガニスタンの子供の立場にたって、「学校で学ぶ目的」を考える。
- ・自分や他の生徒のランキング結果をもとに、グループ、全体での意見交流ができる。
- ・自らの「学校で学ぶ目的」をみつめなおす。

(2) 本時の展開 50分(2時間目/3時間扱い)

時間	学習活動・内容	教師の支援(○) 評価(*)
5	アフガニスタンの子供たちの現状を振り返る	○写真パネルをつかって前時を振り返る
10	アフガニスタンの子供たちが「学校で学ぶ目的」のランキングを各自でつくってみよう。 また、そうした理由もワークシートに書こう。	
	ランキングをつくり、そうした理由も考えて、ワークシートに記入する。	○事前に生徒アンケートを実施して、それを参考にして学校に来る目的のキーワードを10個つくり、ワークシートにし、配布する。 *アフガニスタンの子供の立場を理解してランキングを作成できたか。
15	各自のランキング結果について、各グループで話し合っ、グループとしてのランキングを決定しよう	
10	グループにわかれて、話し合っグループのランキングをつくる。 グループごとに、10枚のカードをランキングにして黒板に掲示する。	*自分の考えをしっかりと伝えながら、他の人の意見を尊重して、グループのランキングづくりに参加できたか。 ○各グループのランキングを黒板に掲示していく。
	各グループのランキングの結果をみて、気がついたことを自由に発表しよう。	
	各グループのランキングをみて、全体で自由に意見を交流する。	*他のグループのランキングをみて、「学校で学ぶ目的」について、考えを深めることができたか。
10	アフガニスタンの「山の学校」の発起人の長倉さんの意見を聞いて(読んで)授業を振り返って、考えたこと、気づいたことを書いてみよう。	
	長倉さんの意見を聞き(読んで)、また、黒板の各グループのランキングをみて、授業を振り返って、考えたこと、気づいたことをワークシートに書く。	*自分の「学校で学ぶ目的」について、みつめなおすことができたか。

6. 参考資料

- (1) 「学校で学ぶ目的」のランキングシート
- (2) アフガニスタンのプリント(年表、宗教、生活、子供と教育などを雑誌や新聞記事のスクラップをもとに)
- (3) アフガニスタンの山の学校のプリント(ホームページと長倉さんの呼びかけの新聞記事)
- (4) VTR NHK 番組「アフガニスタンに井戸を掘る ～中村哲」

学校で学ぶ目的のランキングシート

名前 _____

ランキングのためのキーワード

(例)

将来良い暮らしをするため

将来の自分の夢のため

友達と出会うため

自分の国を平和にするため

良い学校に進学するため

集団生活のルールを身につけるため

世の中のしくみを学ぶため

豊かな人間性を身につけるため

良い先生に出会うため

このように並べた理由を書こう。

自分の「学校で学ぶ目的」について、あらためて考えたこと、気づいたことを書こう。